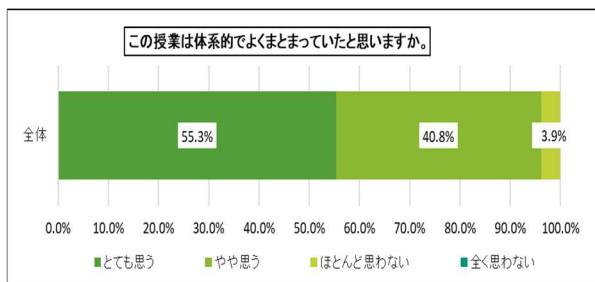
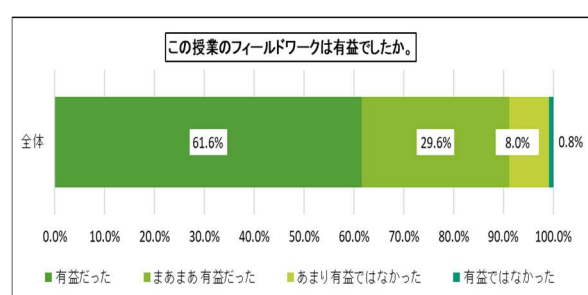
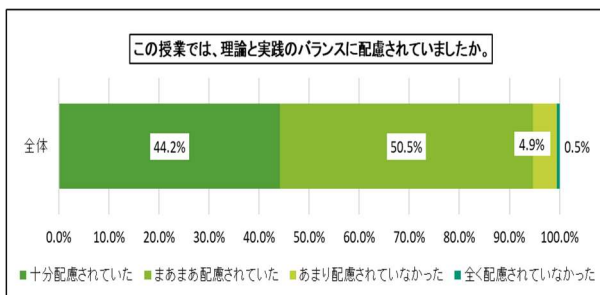
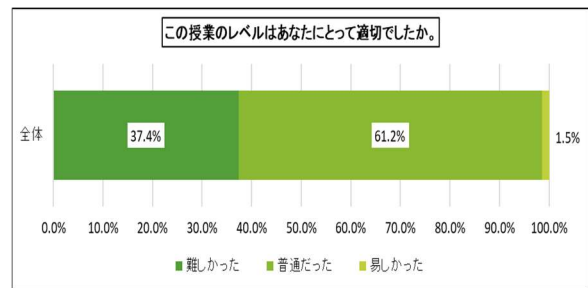
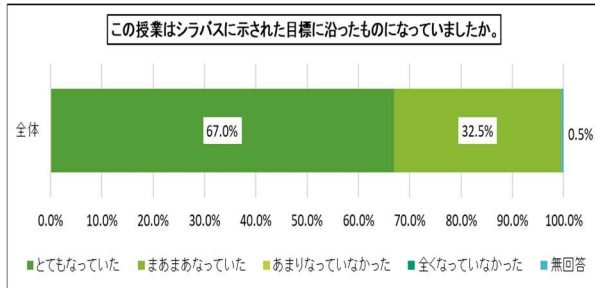


2019 年度 春学期「授業アンケート」

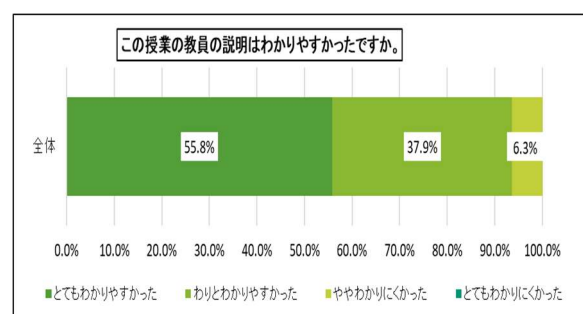
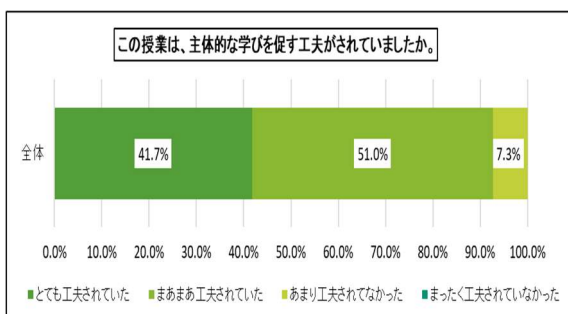
授業アンケートの結果

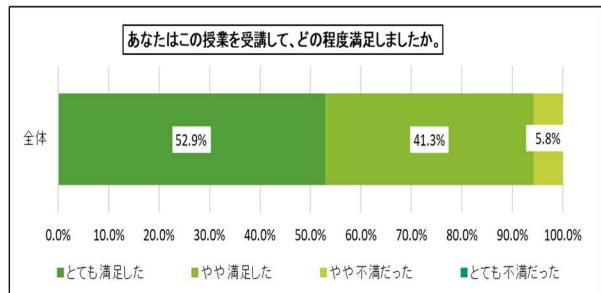
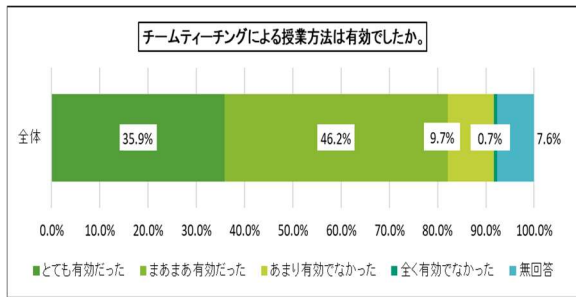
(1) 授業内容について



「授業内容について」は、昨年度より大幅に改善された。理論と実践のバランスへの配慮に関する否定的な回答が5%程度となり、授業の体系性についても4%弱であった。目標に沿った授業に関してもほぼ全てが肯定的に回答している。フィールドワークの有益性についても改善している。

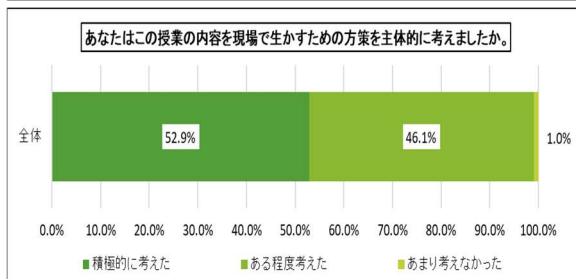
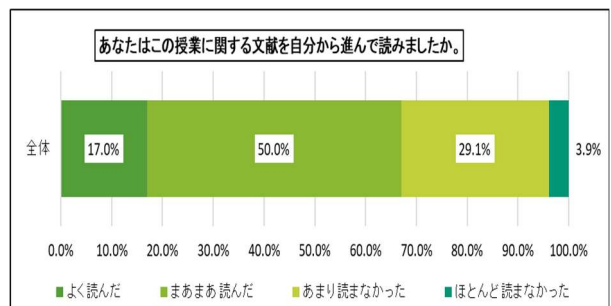
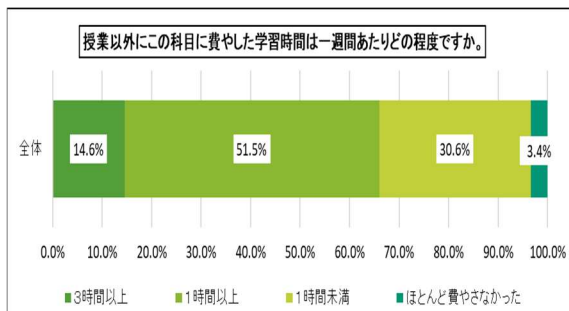
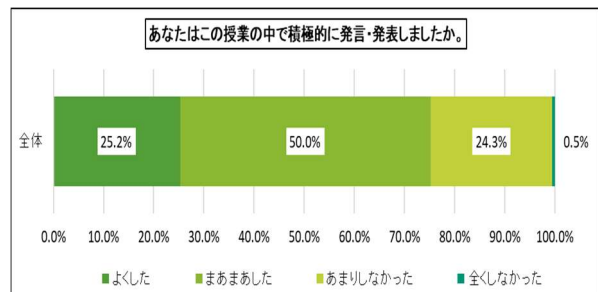
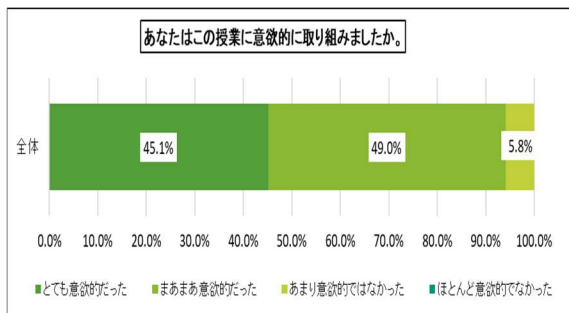
(2) 授業の進め方について





「授業の進め方について」の結果も昨年度より改善した。どの項目に関しても6~7%が否定的な回答をしている。これを0%にすることを目指さなければならない。ただ、改善されたとはいえチームティーチングの有効性に関して課題がある。より一層密な打ち合わせ時間の確保が求められる。

(3) 受講生の取組について



「受講生の取組について」については、授業内容を現場で生かそうとする意欲は強く、授業の取り組みも良好である。昨年より改善されているとはいえ、授業外の学習時間が少なく、授業に関連する文献を読むことをしていない学生が3割程度いる。学生の主体的な学びを育くむ必要がある。